

仕

造作における 上あれこれ

「造作」において、各仕上の計画をいくつか紹介していくことにする。

材

材質

床、壁、天井などの空間全体の仕上を決定した後に、「造作」の材質をそれらと照らし合わせていく。メンテナンスも考慮し、用途と意匠を合わせて検討していく。

塗

塗装

それぞれの材質に対して、必要性和色を決定していく。材質を活かしたり補ったりする役割もあるので、材質と一体で考えていく。またその成分もチェックしたい。

金

金物

「造作」を使用するための“つなぎ”の部分で、安全で、使いやすく、「造作」が引き立つデザインのものを選択したい。検討事項も多いが、「造作」の中でおもしろい部分でもある。